

第30期 決算公告

貸借対照表

(令和2年3月31日現在)

和歌山市本町四丁目45番地

株式会社紀陽カード

代表取締役社長 竹中 義人

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	[6,424,316,464]	流動負債	[4,994,329,022]
現金・預金	31,379,964	未払金	3,345,968,841
未収金	6,196,407,870	短期借入金	1,350,000,000
貸付金	150,978,228	預り金	3,637,000
未収収益	107,117,241	未払費用	67,006,145
前払費用	4,022,306	前受収益	2,632,743
貯蔵品	23,596,562	リース債務	10,403,736
その他の流動資産	35,682,827	未払法人税等	43,666,700
貸倒引当金	△ 124,868,534	未払消費税	7,680,300
		賞与引当金	9,217,340
		販売促進引当金	127,033,000
		保証債務損失引当金	568
		利息返還損失引当金	24,653,936
		その他流動負債	2,428,713
固定資産	[721,357,024]	固定負債	[229,536,656]
(有形固定資産)	(26,933,620)	リース債務	26,842,448
建物	1,859,860	繰延税金負債	188,848,508
建物附属設備	2,328,534	退職給与引当金	13,845,700
器具及び備品	2,770,122		
リース資産	19,975,104	負債の部合計	5,223,865,678
(無形固定資産)	(24,093,534)	純資産の部	
電話加入権	1,455,170	株主資本	[1,523,735,189]
ソフトウェア	5,367,284	資本金	[60,000,000]
リース資産	17,271,080	剰余金	[1,463,735,189]
(投資その他の資産)	(670,329,870)	利益準備金	12,800,000
敷金・保証金	6,600,000	(その他利益剰余金)	(1,450,935,189)
長期前払費用	23,740	別途積立金	550,000,000
繰延税金資産	76,785,000	期首繰越利益剰余金	767,925,264
その他の投資等	586,921,130	繰越利益剰余金	133,009,925
		評価・換算差額等	[398,072,621]
		その他有価証券評価差額金	[398,072,621]
		純資産の部合計	1,921,807,810
資産の部合計	7,145,673,488	負債・純資産の部合計	7,145,673,488

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しています。

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① 有価証券の評価基準及び評価方法

時価のあるものについては期末日の市場価格等に基づく時価法、時価のないものについては移動平均法による原価法

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産（リース資産を除く） 法人税法の規定による定率法

② 無形固定資産 法人税法の規定による定額法

③ リース資産 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係る有形固定資産中のリース資産は、リース期間を耐用年数とし、残存価格を零とする定額法

(3) 引当金の計上基準

① 貸倒引当金 自己査定の実施により求められた予想損失率に基づき、将来貸倒損失等が予想される回収不能見込額を計上しています。

② 賞与引当金 支給見込額の当期負担分を計上しています。

③ 退職給付引当金 退職金規程に基づく期末要支給額により計上しています。

④ 販売促進引当金 景品交換ポイントの期末有効残高に予想交換率を乗じ、ポイント単価を5円として計上しています。

⑤ 保証債務損失引当金 被保証者の財政状態等を勘案し、損失負担見込額を計上しています。

⑥ 利息返還損失引当金 利息制限法上限金利を超過する利息部分に対する将来の返還請求見込額を計上しています。

(4) その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

① リース取引の会計処理

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、主に通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

② 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税込方式によっています。